

## 第五話 竜馬と新撰組

当時の徳川幕府にとって、幕府を転覆さす恐れのある竜馬は当然危険な存在で、常に幕府の守護職にあつた新撰組からつけ狙われていました。京の近江屋での竜馬と中岡慎太郎暗殺の下手人として、新撰組の原田左之助が疑われたことがあります。新撰組は斬りあつたことはありません。

ところが宇宙では局面がちがいます。一九八二年一月三日、芸西の天文台で発見した小惑星（2835）に、『竜馬』と命名し、国際的に認められたのですが、その後一九八九年に突如出現した小惑星『新撰組』が、こともあろうに竜馬の軌跡を追って刻々と迫り始めたのです。追つては切り込み一番隊長の沖田総司に剣豪として名高い永倉新八、せつかく星になつて宇宙を漫遊し、外国の星たちとも交流して、その見聞を広めていた竜馬に又しても凶刃です。

竜馬危ない！

どうしたら竜馬を救えるだろうか？ 思案に暮れた私は

咄嗟にある名案を思いついたのです。

竜馬の命日十一月二十五日には、毎年上町二丁目の  
誕生地でお祭りが行われている。

